

長野の林業

平成31年1月10日発行
長野の林業編集委員会

No.348

もくじ



年頭のご挨拶	2
特集 長野県の林材業労働災害・今年はゼロでいこうよ！林災防長野支部	6
児童・生徒木工工作コンクール表彰……長野県木青連	7
県森連だより	18
長野県の木材市況	19
絵本の紹介……長野県緑の基金	20

新年あけましておめでとうございます



平成30年度木材利用優良施設コンクール(主催：木材利用推進中央協議会)において、朝日村役場が「林野庁長官賞」を受賞しました。

カラマツやヒノキなど全7樹種の村産材をふんだんに利用し、信州型接着重ね梁など新たな建築材料も使用。

村民交流ホールに、樹齢300年・160年のヒノキ大黒柱を象徴木として配置し、木の温かみ、安らぎの空間を演出した「新たな村の拠点」が誕生しました。



年頭所感



中部森林管理局長
宮澤 俊輔

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、平素より中部森林管理局の業務運営に対して格別のご理解ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、国有林野事業は、森林のもつ公益的機能の一層の發揮とともに、林業の成長産業化への貢献等を通じて地域の振興に努めることを使命として、様々な取組を進めているところです。

昨年、中部森林管理局においては、森林施業の効率化・低コスト化や木材の需要拡大を重要な課題と位置づけ、主伐時に発生する末木枝条の木質バイオマス発

電所への販売、機械地拵の実施による造林コストの縮減に向けた取組を進めるとともに、新たな試みとして昨年秋には、近年の住宅における和室の減少等に着目し、オフィスやアパート・マンションで利用できる「ブランド材を用いた新たな洋風パーティションコンペ」を開催し、木材の需要拡大にも努めました。

また、平成三十年七月豪雨、台風災害等により多大な被害が発生し、山地災害や林道施設災害等の早期復旧を目指しており、昨年は、木曾郡王滝村で村道が不通となった際に国有林林道を緊急迂回路として提供し住民の足を確保するなど管内の対応はもとより、西日本地域の治山事業の支援を行うため広島森林管理署への職員の派遣も行いました。

さらに、獣害対策として、これまでの取組に加え、ニホンジカ対策として各種事業の請負事業体等に事業地周辺等でのワナの見回り、捕獲を要請し、地元猟友会等とも連携・協力した地域ぐるみでのニホンジカの捕獲の取組を進めました。

一方、国有林だからこそ提供できる各地の多種多様なフィールドを活かし、心身の健康づくりに最適なウォーキング

コースを四十四コース（長野県内二十六コース）選定し、現代のライフスタイルに合わせ、スマートフォンやタブレット端末にも対応した「国有林おさんぽMAP」を作成し、国民の皆様にも国有林のフィールドを活用していただく取組も行いました。

加えて、優れた自然環境の維持・保存を図るため、原始的な森林生態系等を有する国有林については、保護林モニタリング調査を行うほか、世界的にも希少な貴重な木曾地方の天然のヒノキ等を構成樹種とする温帯性針葉樹を守り育てる「木曾悠久の森」の取組も進めました。

本年も、こうした取組を着実に推進するとともに、民有林関係者の皆様と連携しながら、地域林業の一層の発展に向けて国有林として役割を果たして参る考えですので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

終わりに、長野県の森林・林業・木材産業の益々の発展と、皆様のご健勝を祈念いたしました。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年の御挨拶



長野県林務部長
山崎 明

平成最後の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げますとともに、日頃から県の森林・林業・木材産業行政の推進にあたり、格別なる御理解と御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

本県の森林資源は、先人たちのたゆまぬ努力により成熟し、県内の二〇一七年の素材生産量は、最も減少した二〇〇五年に比べ二倍以上の約五十四万^mとなるなど、利用可能な時期を迎えています。

また、本県林業の再生と木材産業の振興等を目的とする「信州F・POWERプロジェクト」の木質バイオマス発電施設が昨年十一月に着工されており、林業県への飛躍に向けた更なる原動力となるよう期待しているところです。

さて、本年は、森林経営管理法の施行により、所有者自らが経営管理を実行できない森林を所有者に代わって市町村が経営管理を行う「新たな森林管理システム」が導入され、これに必要な経費は、来年度より「森林環境譲与税(仮称)」として、市町

村に一定の割合で措置されるという、森林・林業施策にとって大きな転換期ともいえる年になります。

一方で、市町村の体制面を見ると、少ない人数で多くの業務に対応している状況であり、専門人材の確保も困難な状況が想定されますので、新たな役割を担う市町村に対し、県として積極的なサポートを行っていきたくと考えています。

また、この新たな森林管理システムを円滑に導入するためには、森林資源の現況把握、所有者の特定、境界の明確化といった森林情報を復元可能な状態で一元的に管理することが必須となります。「所有の近代化」とも言えるこうした取組は、森林資源の持続的な管理・利用を進めていく上で、地道ではありますが最も重要な作業と言えます、このためには、基盤となる路網整備や最先端のICT技術を活用した「スマート林業」の構築を同時並行で進め、まずはこれからの十年程度で集中的に取り組み、足元をしっかりと固めていく必要があると考えています。

今回の新たな森林管理システムが本格的に稼働することになれば、管理の行き届かない森林の公的な管理だけではなく、資源の効率的な利用や、伐採の適正化といった様々な効果が期待できます。本県と同様に急峻な地形を有し内陸国でもあるオーストリアでは、既に所有の近代化や高密度路網、機械化の実現によって、本県と比較して労働生産性は四倍、労働災害の発生率は¹/₅以下という林業立国としての地位を確立し、自国の資源である森林を健全な状態で維持しながら循環的に利用する社会が形成されています。

本年は、こうした国外の林業先進地から学ぶべき点も積極的に取り入れ、林業県

への飛躍を図るとともに、県民の安心と安全を守るかけがえのない財産でもある森林を健全な姿で次の世代に引き継いでいく足掛かりの年にしたいと考えています。

昨年は災害の多い年でしたが、こうした中で、第三期目の取組が始まった長野県森林づくり県民税では、県民の安心と安全を支える「防災・減災」のための森林整備をはじめ、「県民協働」による里山の整備や利活用、教育や子育て、福祉、観光といった多様な分野での森林の利活用を推進しているところですが、森林の多様な価値を創造し、県民の皆様にとって森林が身近な存在となるよう、引き続き取り組んでまいりますので、御理解と御協力をお願いします。

また、森林の多様な価値の創造に向けては、それを担う人材が必要となるため、「しあわせ信州創造プラン2.0」に位置付けられたチャレンジプロジェクトの一つ「美しく豊かな木と森の文化の再生・創造プロジェクト」として、本県の林業界への人材輩出を担う林業大学校を中心に日本の林業をリードする学びや研究開発の拠点となる「フォレストバレー」の構築に向けても取り組んでまいりたいと考えています。

さらに、出口対策である県産材利用も、補助金があるからではなく、持続可能な社会のためには当然の選択となる社会を創っていく必要があると考えています。

いづれにしましても、こうした取組を進める上では、県民の皆様からの林務行政に対する信頼が不可欠となりますので、引き続き、適正な業務の執行と職員の意識改革を行いながら、全力で森林・林業施策に取り組んでまいります。

結びに、本年が皆様にとって実り多き年になりますよう御祈念申し上げます、年頭の御挨拶とさせていただきます。



森林管理の新しい形と 森林組合の役割



長野県森林組合連合会
代表理事長
藤原 忠彦

新年あけましておめでとうござい
ます。

日頃、皆様方から長野県森林組合連合
会及び県下十八森林組合の運営にご支
援ご協力を頂戴しておりますことに深く感
謝申し上げます。

昨年、全国的に異例な気象現象や大
規模な災害が数多く発生しました。

一月から二月にかけて関東地方や北陸
地方で大雪。梅雨の期間は異例の短さ
だった一方で七月上旬には西日本や東海
地方を中心に長期間にわたる記録的な豪
雨で多くの方が犠牲となりました。九月
には非常に強い台風二十一号、二十四号
が直撃し大きな被害をもたらしました。
また、六月に大阪で、九月には北海道胆

振地方で強い地震が起き甚大な被害と犠
牲者が出ました。森林も各地で深刻な被
害を受けました。森林の役割とそれを守
ることの大切さを考えさせられた年でし
た。

林業や森林組合をとりまく情勢に目を
転じますと、木材価格は全体として大き
な下落も見られず比較的安定して推移し
た一年でした。しかしながら、まだ森林
経営を満足させ次の山づくりにつなげら
れるといった水準には至っておりませ
ん。

森林づくり県民税が今後五年間継続す
ることとなったほか、新たに設けられる
森林環境税(仮称)制度の嚆矢として森林
環境譲与税(仮称)が本年四月から導入さ
れ、新たな森林管理制度もスタートしま
す。昨年はその準備段階ということ、
市町村や県、国の動向を見守る年でした。
制度の開始に向けて不安も大きいところ
ですが、新しい形での森林管理は、まず
は市町村が主体となって進めるものであ
ると同時に、実務においては、やはり、
これまで長きに亘り森林と向き合い営々
と整備、管理に努めてきた森林組合が重
要な役割を担わなければならぬと考え
ております。森林組合の飛躍につなげた
いところ、です。

昨年末に発効したTPPや今年の秋に
予定されている消費税率引上げ等の影
響、そして二〇二〇年の東京オリンピック
・パラリンピックに向けての木材需要
の動向など林業を始めとする関連産業を
とりまく状況には不明不安要素は多く、
今後内外の社会経済情勢から目が離せ
ません。

森林組合の運営については、コンプラ
イアンスの重視が一層強く求められてき
ております。これに関しては、森林組合
系統全体で不断の努力により社会的な信
用を勝ち得ていかなければなりません。

県内の人工林は、伐期・利用期となり
主伐、再造林が必要な時期を迎えていま
す。そのような中で、森林組合では担い
手の不足や高齢化、次の山づくりが進ま
ない等々多くの課題に直面しています。

このような状況下、今年は、森林林業、
森林組合をとりまく環境が大きく変わる
年です。奇しくも元号も改まります。森
林組合もステップアップ元年となるよう
切に願うところです。

結びに、本年が災害の無い良い年とな
るように、また、長野県の森林、林業を
始めとする関連産業の一層の発展と皆様
のご健勝と御多幸をお祈り申し上げます
のご挨拶いたします。

木をつなぐウッドファースト
社会の実現に向けて



長野県木材協同組合連合会
理事長
宮崎 正毅

平成三十一年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

日頃、皆様方には、当連合会の活動に対し、多大な御支援と御協力を賜っておりますことに、厚くお礼を申し上げます。昨年、大阪北部、北海道胆振東部地震をはじめ台風、豪雨災害が相次ぎ、多くの方々が被災されました。被害に遭われた皆様には、心からお見舞い申し上げますとともに、早期の復興を願うところであります。

林業・木材関係では、森林環境譲与税が本年度から導入されることになり、森林整備や木材利用の拡大への活用が期待されています。東京五輪関係施設への木

材利用をはじめ、合板、土木用材の需要の伸びにより、カラマツ材は荷動きが活発になりましたが、他の素材、製品の消費・価格は伸び悩み、なかなか明るさが見えない、という状況ではないでしょうか。

さて、戦後造林された森林資源は充実期を迎え、資源の有効利用と環境保全の面から、国産材利用の拡大が必要とされており、川上―川中―川下間の需給調整と山元への還元を図り、林業・木材産業による地域経済の振興と森林整備の促進による国土保全機能の向上を図ることが求められています。

こうした中、建築基準法が改正されるところに、CLTのような新たな工法が普及し、都市部における中高層建築物の木造・木質化の可能性が大きく広がりました。木材製品の開発では、これまでに建築基準法の大径材取得した「信州型接着重ね梁」A・B型に加え、平成30年5月には、新たに大径材を使用したC型の認定を取得したところ。こうした工法、製品等を活用し、住宅はもとより非住宅の分野においても、県産材の利用拡大を図る必要があります。

国の林業・木材関係六団体では、昨年

十月に「森林・林業の再生に向けた共同行動宣言二〇一八」により、森林を健全な姿で次世代に引き継ぐため、川上・川下の関係者が一体となって、森林資源の循環利用の確立に向け全力で取り組む、とされ、さらに、昨年十一月に広島県で開催された全国木材産業振興大会では、「木をつなぐ神々の次代から、現代（いま）、そして未来へ」と題し、木材の復権に向け、消費者やユーザーと協力して取り組むことが決議されました。

当連合会といたしましても、国や県に対する要請活動や長野県議会農政林務委員会との懇談会を通じ、県産材利用の促進を要望するとともに、確かな品質で安心して県産材を利用していただけるよう、信州木材認証製品制度の推進をはじめ森林認証材の普及などに取り組んでいくところです。戦後、長らく続いてきた非木造化の流れを止め、木材を優先して活用するウッドファースト社会の実現と未来へ「木をつなぐ」ことに、微力ながら取り組んでまいります。

結びに、長野県の森林・林業・木材産業の発展と皆様方の御健勝と御多幸を心より御祈念申し上げます、新年の御挨拶とさせていただきます。

長野県の林材業労働災害・今年はゼロでいこうよ！ ～「ゼロ災でいこうヨシ」を合言葉に～

林災防長野県支部です。「長野の林業」愛読者の皆様におかれましては、日頃、当支部の業務運営について、ご支援ご協力をいただき感謝申し上げます。当支部では、一年を通して、労働安全衛生法に基づく法定講習を開催し、事業者様に代わって安全衛生教育を行っており、年間1,000人を超えるご利用をいただいています。



1 林業労働災害の現状について

近年の林業労働災害は、死傷年千人率や度数率、強度率などの評価指標で示されるとおり全産業との比較でかなり高い数字になっていることがお分かりいただけると思います。(表及びグラフ参照)

全国の林業労働災害発生状況を見ると、件数的には減少傾向ですが、死亡者数は40人前後で高止まりとなっています。また、長野県でも全国と同様の傾向がみられ、死亡者数が毎年1名程度は出ており、ここ最近では「立木等に起因する激突され」による災害事例が続いています。

2 伐木関係の省令改正について

上記1に加え、若年従事者の増加や、人工林の充実等を踏まえ伐木作業の増加が見込まれる中、その安全対策のあり方が林業関係者等により検討されました。その報告を受け、2018年10月厚労省の労働政策審議会安全衛生部会において、次のような省令改正の方向性が示されました。

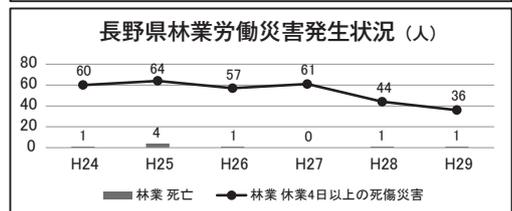
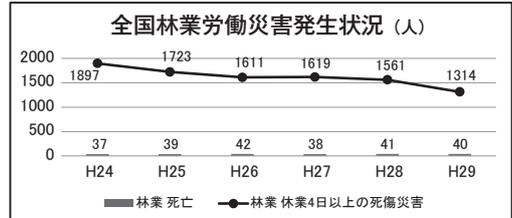
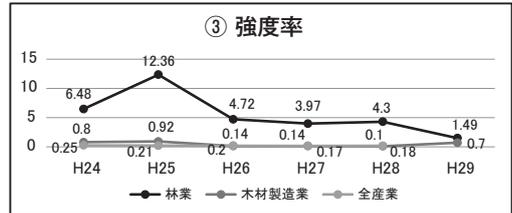
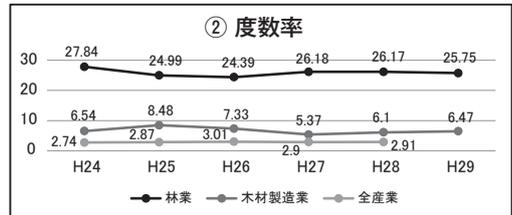
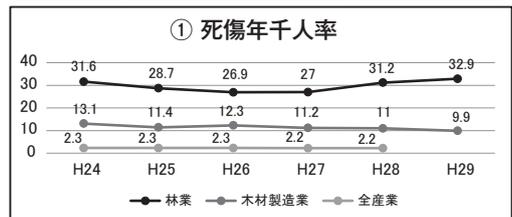
- 1 チェーンソーによる伐木・造材作業における災害の防止…
 - ① 胸高直径20cm以上の伐木の受け口作成義務
 - ② かかり木の浴びせ倒し等禁止
 - ③ 下肢防護のための保護衣着用義務
- 2 教育の充実(項目の追加等)
- 3 国、地方自治体、業界団体、災防団体等の取組
- 4 その他

12月には公布・告示の予定でしたが、「元玉切り」を禁止事項に盛り込むか否かで議論が深まり、より詳細な災害発生データ等を踏まえ、引き続き議論することとなりました。

いずれにしても、2019～2020年のいずれかの時期に施行となりますが、あらたな安全衛生教育の追加実施等が見込まれます。今後の情報にご注意いただきますとともに、今年は「ゼロ災でいこうヨシ」を合言葉に取組みましょう！

評価指標の説明(グラフは全国)

評価指標名	内容	意味
①死傷年千人率	1年間の労働者1,000人当りに発生した死傷者数の割合	労働災害の多さ
②度数率	100万延べ労働時間当たりの死傷者数	労働災害の頻度
③強度率	1,000延べ労働時間当たりの労働損失日数	労働災害の重篤性



第41回 長野県児童・生徒木工工作コンクール表彰式 を開催しました。

長野県木材青壮年団体連合会

県内の小・中学生及び特別支援学校の児童・生徒が身近な木材・木片を使用した創作物のうち優れた作品についての表彰式を、十二月八日（土）に「長野市立博物館」（長野市）にて行いました。

本コンクールは、長野県、長野市、長野県森林管理局、（公財）長野県緑の基金等から共催いただき、長野県森林づくり県民税を活用しています。

今年度は、四千六百点を超える大勢の皆様から応募いただきました。

当日の表彰式は、受賞者が製作に当たったの思いを綴った作文を紹介し、最優秀賞（長野県知事賞）三作品をはじめとする九作品を表彰しました。

受賞者へは県産スギの間伐材を利用した木製賞状と記念品を贈呈しました。

最後にご来賓を代表して、長野県林務部 丸山県産材利用推進室長から講評をいただき表彰式は終了しました。

当連合会は、今後もコンクールを始めとし、各地域での木工教室の開催などを通じ、より多くの県民の皆さんが県産材を身近に感じていただき、また木育活動にも取組を行っていききたいと思っております。

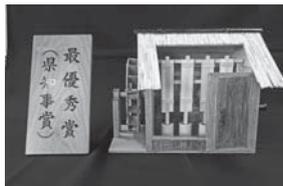


総作品数	4,619点
参加学校数	133校
小学校	131校
中学校	2校
盲・ろう・養護学校	0校

入選	9点
優秀賞	10点
佳作	551点
努力賞	4,049点

最優秀賞・特別賞受賞作品

◆最優秀賞（長野県知事賞）



作品名 じいちゃん作った水車小屋
 学校名 上田市立長小学校
 学年 4年
 氏名 清水 大我



作品名 ワシ
 学校名 小谷村立小谷小学校
 学年 6年
 氏名 宮嶋 真



作品名 スタンド
 学校名 原村立原中学校
 学年 1年
 氏名 清水 太陽

◆長野県教育委員会賞



作品名 鯉
 学校名 伊那市立春富中学校
 学年 3年
 氏名 中澤 裕輝

◆長野県木材青壮年団体連合会会長賞



作品名 きこの森
 学校名 南木曾町立南木曾小学校
 学年 2年
 氏名 高橋 莉心

◆長野県木材協同組合連合会理事長賞



作品名 森のツリーハウス
 学校名 高山村立高山小学校
 学年 4年
 氏名 藤沢 碧海

◆長野県産材振興対策協議会会長賞



作品名 和の明り
 学校名 南木曾町立南木曾小学校
 学年 5年
 氏名 鈴木 天翔

◆長野県木材協同組合連合会理事長賞



作品名 登竜門
 学校名 佐久穂町立佐久穂小学校
 学年 5年
 氏名 須田 蓮也

◆長野県木材青壮年団体連合会会長賞



作品名 鯉の羽化
 学校名 南木曾町立南木曾小学校
 学年 6年
 氏名 原 悠人



謹賀新年



森林・林業の総合アドバイザー
一般社団法人

**長野県林業
コンサルタント協会**

理事長 羽田健一郎

一般財団法人

**長野県林業労働財団
長野県林業労働力確保支援センター**

理事長 山口勝也
役員 一同

長野県森林組合連合会

会長 藤原忠彦
副会長 林和弘
専務理事 高田幸生

長野県林業団体協議会

会長 高田幸生
副会長 宮崎正毅
副会長 水本豪

一般社団法人

長野県林業センター

理事長 藤原忠彦
副理事長 宮崎正毅
副理事長 水本豪
常務理事 塩入茂

**林業・木材製造業
労働災害防止協会**

支部長 宮崎正毅
副支部長 高田幸彦
専務理事 阿部勝彦
事務局 長

長野県支部

信州木材認証
製品センター

理事長 宮崎正毅
副理事長 齋藤廣
副理事長 高田幸彦
専務理事 小島弘夫
事務局 長

流通部会

部長 野村弘

木造住宅部会

部長 田中一興

素材生産部会
土木用材部会

部長 由井正隆

専務理事 松本寿弘
副理事長 小島宏夫
副理事長 宮野尾照幸
副理事長 大久保陸男
副理事長 都築良透

長野県木材
協同組合連合会

理事長 宮崎正毅
副理事長 佐原良彦
副理事長 都築良透
副理事長 大久保陸男
副理事長 麦久保幸男
副理事長 宮野尾照幸
専務理事 小島宏夫
事務局 長 松本寿弘

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林整備センター
長野水源林整備事務所

所長 春原武志

長野県水源林造林協議会

会長 中村武雄

長野県山林種苗協同組合

理事長 富澤修一
組合員 一同

一般社団法人
信州の緑と
野鳥を守る会

理事長 小林富夫

一般社団法人
長野県猟友会

会長 竹入正一

長野県治山林道協会

会長 羽田健一郎
役員 一同

国内産ヒノキ間伐材使用
高圧木毛セメント板製造・販売

タケムラ
竹村工業株式会社

下伊那郡松川町上片桐4604
TEL 0265-36-6111
FAX 0265-36-6555
info@takemura.co.jp

レストラ
四季の味 樹木里

南佐久南部森林組合

代表理事 藤原忠彦
組合長

南佐久中部森林組合

代表理事 黒澤和夫
組合長

南佐久北部森林組合

代表理事 佐々木定男
組合長



謹賀新年



農林中央金庫

部長 竹 淵 晶 代
関東業務部

長野県森林組合長会

会長 林 和 弘

長野県造林協会

会長 藤 原 忠 彦

長野県林業

薬剤防除協会

会長 牧 司

長野県林業普及協会

一般社団法人
会長 林 和 弘

長野県林業経営者協会

会長 神 戸 直 日

長野県特用林産振興会

会長 林 和 弘

長野県林業研究グループ 連絡協議会

会長 長 田 中 忠

長野県林業士会

会長 飯 森 幸 彦

長野県生産森林組合 等団体有林連絡協議会

会長 鮎 澤 光 昭

佐久森林林業振興会

役員一同

上小林業振興会

会長 長 羽 田 健 一 郎
役員一同

諏訪地域森林づくり 林業振興会

役員一同

上伊那山林協会

役員一同

下伊那山林協会

役員一同

木から学び、木から発想する新しい展開。

woodlink ウッドリンク株式会社

- 本 社 富山県射水市寺塚原415
住宅資材事業部 Tel. 0766-84-4477 Fax. 0766-84-4479
- 営業店 ・富山店 ・金沢店 ・福井店 ・上越店
- 製材事業部 富山県高岡市能町2000
Tel. 0766-21-2628 Fax. 0766-25-0891

佐久森林組合

緑を育て山を守る
代表理事 山 岸 喜 昭
組合長 役職員一同

信州上小森林組合

緑の担い手
代表理事 倉 沢 明 人
組合長 役職員一同

諏訪森林組合

役員一同



謹賀新年



木曾山林協会

会長 長貴舟 豊
役員一同

松本地域森林 林業振興会

役員一同

長野地方緑化 推進委員会

会長 染野隆嗣
役員一同

北佐久木材協同組合

理事長 新井藤弘
組合員一同
事務所 小諸市大字平原四ツ谷原九六七七
☎(〇二六七)二二一〇二二〇
FAX(〇二六七)二四一〇六八三

上小木材協同組合

理事長 大久保陸男
組合員一同
事務所 上田市芳田一八一八一
☎(〇二六八)三五一一四〇〇

南安曇木材協同組合

理事長 佐原良彦
安曇野市豊科四九三二一三三九
(榑佐原建設内)
☎(〇二六三)七二二二一〇〇

飯伊木材協同組合

理事長 松下勝彦
事務局 飯田市常盤町三〇
☎(〇二六五)三三一三三六一

北信木材生産 センター協同組合

代表理事 竹下元治
長野市大字穂保字中ノ配三四二

木曾木材生産事業協会

会長 大井仁
木曾郡上松町荻原中島一五七九一三

東信素材生産事業 協同組合

代表理事 星野勝好
組合員一同
小諸市大字平原四ツ谷原九五五一
☎(〇二六七)二二一五〇四五
FAX(〇二六七)二二一五〇三二

瑞穂木材株式会社

木材製材販売・住宅資材販売
代表取締役 宮崎正毅
下高井郡木島平村大字穂高三三八一
☎(〇二六九)八二一三一八
FAX(〇二六九)八二一四一五六

宮澤木材産業株式会社

代表取締役社長 宮澤遥
本社 長野市中曾根二一八八一五
☎(〇二六三)三九一〇五八八
FAX(〇二六三)三九一〇五八八
環境事業部 ☎(〇二六三)三九一〇五八八
FAX(〇二六三)三九一〇五八八

齋藤木材工業株式会社

代表取締役社長 齋藤健
〒386-0603 長野県小県郡長和町古町四二九四
TEL(〇二六八)六八一三五五二
FAX(〇二六八)六八一〇二〇二

株式会社 マルオカ

木材、建材、住器、サッシ販売
プレカット(構造、羽柄)、住宅用パネル
代表取締役社長 岡健一郎
長野市吉田五一二五一七
☎(〇二六)二四三一二二八

株式会社 吉本

代表取締役 由井正隆
南佐久郡佐久穂町大字平林二二一
☎(〇二六七)八六一四三〇五
FAX(〇二六七)八六一五五四四

上伊那森林組合

もりもり上伊那
代表理事 白鳥孝
組合長 白鳥孝
役員一同

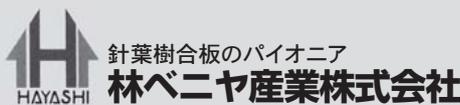
飯伊森林組合

代表理事 林和弘
組合長 古田英士
代表理事 吉澤悦史
常務理事 吉澤悦史
役員一同

根羽村森林組合

信州根羽すぎ・根羽ひのき
代表理事 大久保憲一
組合長 大久保憲一
役員一同
下伊那郡根羽村四〇七一一〇
☎(〇二六五)四九一二二〇〇

信州の木認証合板で 地産地消の緑の循環



(本社) 06-6228-1401
(北陸営業所) 0767-52-4376

謹賀新年



みどり産業株式会社
代表取締役社長 洞 和雄
本社/長野市大字稲葉二四一三三三林秀丸
☎(026)2241870
FAX(026)2231798

日本林業土木(株) 長野出張所
所長 竹内 正比古
出張所 長野市岡田町三〇一六
長野県林業センタービル内
☎(026)2271615

長野国有林森林整備協会
会長 花見 隆夫
副会長 長 林 三弘夫
事務局長 酒井 省三
長野市稲葉母袋沖六二二二
TEL(026)2851907
FAX(026)2851907

一般社団法人
長野林業土木協会
会長 長木 下 修
役員一同
長野市稲葉母袋沖六二二二
TEL(026)2211361
FAX(026)2211361

一般財団法人
日本森林林業振興会 長野支部
支部長 土田 薫
長野市稲葉二四一三三三
TEL(026)2261095
FAX(026)2261927

東京戸張株式会社
東京都港区浜松町一丁目一七番六号
TEL(03)54051081
FAX(03)54051089

新しい時代の森林の保全・管理・活用に
関する技術を提供します
株式会社 森林テクニクス 長野支店
長野市松岡二丁目六番三四号
TEL(026)241927

建設コンサルタント
(森林整備・治山林道・環境事業等
森林の総合調査設計)
株式会社 中部森林技術コンサルタンツ
長野支店 支店長 長谷川 洋
長野市稲葉中千田沖二〇四〇一
☎(026)2241871

一般社団法人
日本森林技術協会
長野事務所 所長 井上 康
長野市中御所岡田町三〇一六
☎(026)2271266

株式会社 長野林友
代表取締役 清水 信之
長野市大字稲葉二四一三三三林友ビル
☎(026)2261774
FAX(026)2261774

グリーンプラマーク取得
地球にやさしい
生分解性プラスチックの
くわ適用被覆シート
信濃化学工業株式会社
〒381-0045
長野県長野市桐原1-2-12
TEL 026-243-1115
FAX 026-243-1520

環境にやさしいシカの忌避剤
農林水産省登録第22312号
全卵粉末水和剤 **ランテクター水和剤**
シカ・ウサギ・カモシカの食害から守る忌避剤
農林水産省登録第17911号
シラム水和剤 **コニファー水和剤**
販売元 **大同商事株式会社**
電話 03 54708491
東京都港区浜松町一丁目十番八号

素材生産販売・伐出請負
大井木材有限会社
代表取締役 大井 翔太
木曾郡上松町緑町二一〇一
☎(0264)2410720
FAX(0264)2410721

素材生産請負・森林整備
立木買付・生産販売
王滝林業有限公司
取締役社長 西 路 明
木曾郡王滝村四五三三
☎(0264)4812368
FAX(0264)4812388

おかげさまで創業一十二年
住まいに関する総合資材販売
株式会社 クラサワ
住まいるの
取締役会長 倉澤 賢一郎
代表取締役 倉澤 慶一
長野市三輪一七七一
☎(026)2411254
FAX(026)2411230

木曾南部森林組合
代表理事 坂家 重吉
組合長 役職員一同

木曾森林組合
代表理事 神村 光雄
組合長 役職員一同

和合森林組合
代表理事 村澤 博光
組合長 役職員一同

今年も山で 軽量タイプ
杭の大活躍! 持ち運びもラク!
かぐや杭 仮杭
ご連絡頂ければ無料配送 (TEL・FAX・Mail 何でもOK)
地球にやさしい
株式会社 リプロ
〒701-0213 岡山市南区中畦1186
TEL.086-298-2281(代) FAX.086-298-2121
e-mail info@ripro.co.jp ホームページ www.ripro.co.jp
最新版 総合カタログ 進呈



謹賀新年



国有林材大径木建築材
スギ・ヒノキ・カラマツ

有限会社 伊藤商店

代表取締役 伊藤 定三
上水内郡信濃町柏原二六八〇一
☎(〇二六)二五五―三〇九七
FAX(〇二六)二五五―五八三一

長野県森連指定
林業機械化協会会員
チェンソー・刈払機・集材機
ワイヤロープ・林業機械器具

有限会社 ガモウ商会

代表取締役 蒲生 浩明
松本市波田中波田五二八一一
☎(〇二六三)九二一―二四六八

信州・松本平の豊かな風景をつくる

株式会社 柳沢林業

松本市岡田下岡田七七四一
☎(〇二六三)八七―五三六一

森林整備・素材生産(産廃) 収集運搬業
支障木伐採・処理・薪取売

オガサワラ林業有限

代表取締役 小笠原 良一
松本市中山四一三五―四
☎(〇二六三)五八―五九三九

有限会社 須江林産

代表取締役 須江 豊
〒385-0022 佐久市岩村田一二六七―一一
☎(〇二六七)六七―二四一六
FAX(〇二六七)六七―四〇六〇

有限会社 中島林業

代表取締役 中島 武東
佐久市取出町二〇三―七
☎(〇二六七)六二―五七〇〇

建築用材製材・信州木材製品認証工場

伊藤木材株式会社

代表取締役 伊藤 利文
上水内郡信濃町柏原二六七一
☎(〇二六)二五五―二〇一七
FAX(〇二六)二五五―二二三三
info@itou-mokuzai.com

素材生産事業、森林整備事業

有限会社 高遠興産

代表取締役 林 敏行
〒396-0023 長野県伊那市山寺一五五三〇一
☎(〇二六五)七二―一五三〇一八
FAX(〇二六五)七二―一八三〇一八

唐松・杉・桧各種 素材丸太・製材品
組建物・看板・加工一般・施工一式
新型インサイジング
(角材及び円柱可能)
防腐加圧処理(ACQ・その他)
※加圧処理は、長さ16mまでできます
ウッドレリーフ製作

大栄産業株式会社

松本市波田二九五一―一三七
☎(〇二六三)九二―五〇五一
FAX(〇二六三)九二―五八〇九
ホームページアドレス <http://www.daiogy.co.jp>

“自然と共に”

NPO法人 森林環境

理事長 湯沢 要次
長野県駒ヶ根市経塚七一一
☎(〇二六五)八一―四八〇三

サンドキーパーマット
SN緑化万能マット
カゴ枠・大型カゴ枠・パネルフトン籠

株式会社 酒井工業所

松本市村井町南三丁目一〇番一四号
☎(〇二六三)五八―一三二〇
FAX(〇二六三)八六―一三八八一

林業用薬剤と
グリーンメンテナンス

松くい虫防除・芝地総合管理
非農耕地雑草防除
―緑と土と水を守る―
長野県森連指定業者
長野県林業薬剤防除協会員



株式会社 アコロ信州
本社 0268-23-2135 FAX0268-23-2153
中信営業所 0263-77-8863 FAX0263-77-8893

共栄火災海上保険株式会社

支店長 中山 重雄
甲信支店
長野市南泉町六九三―四
☎(〇二六)二三―四二二六一
FAX(〇二六)二三―四二二六三

自然の恵みそのままに...
日本産・原木栽培



株式会社 フルタヤ椎茸
家庭用 贈答みやげ用 業務用
Tel.0260-24-2033 Fax.0260-24-2833
〒399-1612 長野県下伊那郡阿南町新野 2451-8
www.furutaya.com

南木曾町森林組合

代表理事 藤原 和年
組合長 藤原 和年
役員一同

松本広域森林組合

代表理事 吉田 満男
組合長 吉田 満男
役員一同

長野森林組合

代表理事 酒井 美明
組合長 酒井 美明
役員一同

北信州森林組合

代表理事 中山 稿一
組合長 中山 稿一
役員一同

栄村森林組合

代表理事 桑原 重雄
組合長 桑原 重雄
役員一同

2019年 長野県内木材市売日程

	飯伊木材 共販所	木曽官材市売				長野県森連		
		本部事務所 製品	荻原事務所 原木	坂下事務所 原木	国有林土場等 活用委託販売 市売日(原木)	伊那木材センター 原木	中信木材センター 原木	北信木材センター 原木
1月	初市 17(木)	初市 第22回全市連国産材需要 拡大製材品特別展示大会 26(土)	初市 29(火)	初市 16(水)	初市 9(水)	初市 ひのき祭り 11(金)	初市 ひのき祭り 10(木) 31(木)	初市 9(水) 広葉樹祭り 30(水)
2月	14(木)	特選材市 23(土)	27(水)	4(月) 19(火)	5(火)	1(金) 20(水)	19(火)	20(水)
3月	14(木)	年度末謝恩市 23(土)	26(火)	6(水) 20(水)	5(火)	8(金) 29(金)	広葉樹祭り 7(木) 28(木)	7(木) 27(水)
4月	18(木)	花まつり 第45回全木協連優良 国産材製材品展示会 20(土)	春季謝恩市 23(火)	4(木) 春季謝恩市 24(水)	16(火)	17(水)	16(火)	17(水)
5月	16(木)	新緑まつり 18(土)	28(火)	15(水)	14(火)	17(金)	16(木)	15(水)
6月	14(金)	荷主会結成 51周年記念市 22(土)	25(火)	4(火) 20(木)	11(火)	5(水) 26(水)	4(火) 25(火)	5(水) 26(水)
7月	11(木)	第52回木材まつり 27(土)	30(火)	4(木) 中元謝恩市 24(水)	2(火) 23(火)	19(金)	18(木)	17(水)
8月	7(水)	特選材市 24(土)	27(火)	6(火) 26(月)	20(火)	8(木)	7(水)	7(水)
9月	19(木)	特選材市 21(土)	25(水)	9(月) 開設21周年記念市 26(木)	10(火)	6(金)	5(木) 30(月)	4(水) 25(水)
10月	17(木)	開設52周年記念市 19(土)	創立64周年記念市 第35回日本美林まつり 23(水)	10(木) 24(木)	16(水)	1(火) 18(金)	17(木)	開設61周年記念市 23(水)
11月	15(金)	えびすこう謝恩市 16(土)	19(火)	7(木) 26(火)	6(水)	開設58周年記念市 19(火)	開設57周年 記念市 18(月)	14(木)
12月	納市 12(木)	納市 14(土)	納市 17(火)	納市 18(水)	納市 3(火)	納市 13(金)	納市 12(木)	納市 11(水)

飯伊森林組合 〒395-0033 飯田市常盤町30 TEL (0265) 22-0604 FAX (0265) 22-0612 共販所 〒395-1101 下伊那郡喬木村400-14 TEL (0265) 33-3361 FAX (0265) 33-3494	◎売り出し 製品(セリ)過年9時・原木(入札)過年13時 国有林土場等活用委託販売開札通年10時30分 (注) 国有林土場等活用委託販売市売日等については、中部森林管理局の都合により変更することもあります。		長野県森林組合連合会 TEL (026) 226-2504 FAX (026) 226-2225 〒380-8567 長野市岡田町30-16 (長野県林業センタービル内) ☆最新市売情報については当会ホームページをご覧ください。		
	木曽官材市売協同組合 本部事務所 〒399-5604 長野県木曽郡上松町正島町2-45 TEL 0264-52-2490(内) FAX 0264-52-2324 荻原事務所 〒399-5608 長野県木曽郡上松町大字萩原字中島143101 TEL 0264-52-2483(内) FAX 0264-52-4885 坂下事務所 〒509-9232 岐阜県中津川市坂下133-1 TEL 0573-75-3178(内) FAX 0573-75-3172 ホームページアドレス http://www.kisokan.com		伊那木材センター 〒399-4432 伊那市東春近2973 TEL (0265) 72-2684 FAX (0265) 76-8759	中信木材センター 〒399-8102 安曇野市三郷温4000 TEL (0263) 77-2347 FAX (0263) 77-2349	北信木材センター 〒381-0003 長野市穂保中ノ配342-1 TEL (026) 295-5546 FAX (026) 295-5547

第1016回 市況表 納市

(平成30年12月13日実施)

長野県森林組合連合会 伊那木材センター



TEL0265-72-2684 Fax 0265-76-8759

○ 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/m ³)	中値 (円/m ³)	気配	備考	
ひのき	3.0	直	14~16	14,500	12,000	○	直造材でお願いいたします。	
		直	18~22	18,200	15,000	○		
		直	24~30	15,100	14,000	○		
	4.0	直	14~16	14,000	10,000	○		並材 φ14cm~φ22cmの直材に限り需要あり。
		直	18~22	18,000	16,000	○		
		直	24~28	16,000	14,000	○		
すぎ	3.0	元	34	30,300		○	3m(φ16cm~φ22cm) 4m(φ18cm~φ36cm) 直材限り需要あり。	
	4.0	直	18~22	12,000	8,000	○		
		直	24~28	13,000	8,000	○		
さわらもみ	4.0	元	42	22,000		○	良材に限り需要あり。安定的な需要あり。	
	4.0	直	18~48	10,000	6,000	○		
くらみ	2.0	直	22	16,100	8,000	○	良材に高値。	
	4.0	直	14~18	10,000	7,000	○		
なら	4.0	直	30上	12,000	9,500	○	需要あり。出品願います。	
		直	28上	26,100	8,000	○		
くり	2.0	直	18上	23,500	8,000	○	良材に高値。	
	4.0	直	18上	23,500	8,000	○		
あかまつ	4.0	直	18上	8,000	6,000	-	良材に高値。並材、価格横ばい。	
		曲	24~28	13,000 (梁材)		○		
かまづ	4.0	直	36~	15,000 (良材)		○	需要あり。出品願います。良材に限り需要あり。	
		直	18上	13,000	10,000	○		
さくら	4.0	直	26~28	14,000~16,000		○	良材に限り需要あり。	
		直	36~38	14,000~16,000		○		

出品量 1,004m³ 販売量 1,003m³ 落札率 99% 買い方 25社

今年、一年間出品に御協力していただきありがとうございました。気温の低下にもなっており、材木の欠点が少ない針葉樹、広葉樹ともに、価格は安定しています。次回、初市ではひのきを祭を開催いたします。良材を伐採する予定の方は御出品よろしくお願いたします。また、あかまつ、カラマツの良材を伐採される方は、当センターまでご連絡下さい。尚、出材には合法認定業者の登録をお願いするとともに出材時にはその都度、合法認定番号及び伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書の提出をお願いします。
(*安全のため荷下ろし、積み込みの際には止り止めの使用をよろしくお願いたします。)

第1018回 市況表 納市

(平成30年12月12日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター



Tel 0263-77-2347 Fax 77-2349

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/m ³)	中値 (円/m ³)	備考
すぎ	3.0	直	16~18	11,000	9,000	3.0m×16~22cm柱取り引合いあります。20cm上は4.0m造材してください。
		直	20~28	13,000	10,000	
	4.0	直	30上	15,000	12,000	
ひのき	3.0	直	20上	18,000	13,000	土台取り価格安定。
	4.0	元	30~40	33,000	18,000	
かまづ	4.0	込	6~13	12,000	8,000	材不足しています。細物5cm~13cm引合い強し。ご出品お願いいたします。
		直	14~18	13,000	10,000	
		直	20上	40,000	12,000	
		曲	14~18	6,000	5,000	
あかまつ	4.0	込	26~40	16,000	6,000	今後の需要に期待。
		込	24~34	34,000	14,000	
かき	1.8~4.0	込	24~34	100,000	80,000	今後も需要見込めますのでご出品下さい。
くり	2.0~4.0	込	18~38	39,000	18,000	
くらみ	4.0~5.0	込	20~34	30,000	18,000	
なら	3.0~4.0	込	18~34	18,000	12,000	
みゆ	6.0	込	26	29,000		
さくら	2.0~4.0	込	26~40	30,000	15,000	

出品量 4,407m³ 販売量 4,192m³ 落札率 95% 買い方 52社

今年も皆様のご協力により計画以上の取扱量を達成することが出来ました。当センター職員一同心より感謝御礼申し上げます。市況は多少ながらも上向き傾向にあります。来年も今年同様、また、それ以上のご協力を賜りますようお願い申し上げます。尚、当連合会は合法木材に取り組んでおります。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

第1050回 市況表 納市

(平成30年12月11日実施)

長野県森林組合連合会 北信木材センター



Tel 026-295-5546 Fax 026-295-5547

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/m ³)	中値 (円/m ³)	備考	
すぎ	3.0	直	16~18	13,000	9,000	柱材需要あり。直造材でお願いいたします。直造材でお願いいたします。	
		直	20上	13,500	11,000		
		直	24上	13,500	11,000		
	4.0	込	8~13	5,500	4,500		需要あり。出品願います。出品願います。
		直	14~20	12,500	10,000		
		直	22~28	14,000	12,000		
かまづ	4.0	直	30上	18,000	11,500	直造材で出品願います。	
		直	14~18	8,000	5,500		
		曲	20上	11,000	8,000		
なら	5.0	直	12~13	13,500	11,000	桁材需要あり。直造材でお願いいたします。	
		直	12~13	14,500	11,000		
		直	6~13	11,000	6,000		
かまづ	4.0	直	14~18	12,500	9,000	需要あり。直造材を心がけて下さい。出品願います。	
		直	20上	20,000	14,000		
		曲	14~18	6,000	5,000		
さくら	4.0	直	20上	14,000	13,000	需要あり。(ただし、良材に限る。)	
		直	30上	22,000	16,000		
		直	36	28,000			
こなら	3.0	直	40	29,000			
	4.0	直	34	25,000			
くり	4.0	直	22~24	28,800			
ほお	4.3	直	30	20,000			
げやき	4.0	直	56	62,000		一本半価	
すぎ	6.0	直	48	50,000		目細材	
		直	42	30,000			

出品量 5,148m³ 販売量 5,069m³ 落札率 99% 買い方 52社

今回は、今年最後ということもあり、多くのお客様にご来場いただき、賑やかな市売りととなりました。市況としましては、カラマツについては、依然として高値で安定しております。スギについては、前回と比べて横ばい傾向となっております。ただし、今回については高値の目細なスギが出品されたこともあり、高値が多く見られました。依然として、どちらも需要は旺盛ですので、引き続きご出品をお願いします。また、広葉樹については、良材の入荷が少なく、あまり高値が見られませんでした。ただし、伐採には良い時期ですので、積極的にご出品願います。なお、来年1月末には「広葉樹祭り」を開催することになっておりますので、こちらについても良材のご出品にご協力願います。今回で本年の市売りが最後となりました。毎回盛大な市売りができるのも出荷者の皆様のおかげと改めて感謝申し上げます。来年も引き続き当木材センターにご協力よろしくお願いたします。【お願】合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず「合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の」納品書の提出をお願いします。

第506回 木材共販市況表

(平成30年12月19日実施)



出品量 3,100m³・買い方 20社・落札率 95.0% 飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円)	平均値 (円)	平均石値 (円)	備考
ひのき	3.0	直	14	12,000	8,000	2,240	
		直	16	13,000	11,000	3,080	
		込	18~24	20,000	16,000	4,480	
		込	26~28	17,500	15,500	4,340	
		込	30上	30,000	22,000	6,160	
		中込	16~22	15,000	13,000	3,640	
	4.0	込	24~28	15,000	13,000	3,640	
		込	30上	38,000	21,000	5,880	
		元直	16~22	23,000	17,500	4,900	
		元	24~28	28,000	23,000	6,440	
		30上	101,000	42,000	11,760		
		中直	12~14	12,000	8,000	2,240	
6.0	込	16~22	17,500	15,000	4,200		
	込	24~28	17,500	14,000	3,920		
	込	20,000	15,000				
4.0	12下	360	300		一本売り		
すぎ	4.0	込直	16~18	10,000	8,000	2,240	
		込直	20~22	12,500	9,500	2,660	
		込直	24~28	13,500	11,500	3,220	
	3.0	30上	18,500	13,500	3,780		
		18~22	9,500	8,000	2,240		
		24~32	10,500	8,000	2,240		
かまづ	4.0	込	14~22	7,500	5,500	1,540	
		込	12~14	6,500	5,000	1,400	
		込	16	8,500	6,000	1,680	
	4.0	込	18~28	13,000	11,500	3,220	
		直	30上	13,500	12,000	3,360	
		小曲り	14~30	5,000	4,000	1,120	
4.0	直	12下	320	270	一本売り		
くり	4.0	直	18~26	28,500	15,000	4,200	

総評
出材量増え応礼活発。ひのき、良材出荷あり、応礼活発。価格はやや上昇。すぎ、引き合いあり、価格はやや上昇。かまづ引き合いあり、価格は横ばい。一年間出荷協力いただきありがとうございました。



美しい信州の緑や森林づくりのため、 「緑の募金」に協力をお願いいたします。

緑の募金スプークスマン運動

『木一本水一滴燦・賛運動』を推進しております。
一滴の命の水は一本の木の樹から生まれます。そんな想いを形にした
ピンバッチとストラップです。
このピンバッチとストラップが多くの皆さんの身近で輝くことで、
森林が元気になります。

募金1,000円以上



《鹿革のピンバッチ》

色々な影響で増えすぎたニホンジカが森を荒らしてしまわないように今捕獲を行っております。
森林の管理には、野生動物の管理も必要とされていることを理解してもらうために捕獲されたシカの皮を活用し、障害のある方や社会的に働く場が得にくい方々が1つ1つ丁寧に作っております（緑色、青、黄色、白、オレンジ、キャメル、赤、ピンク全8色）

募金500円以上



《オリジナルピンバッチ》



《木曾ヒノキ》

木曾郡王滝村の職人が木曾の復興を願い1つ1つ丁寧に作っております



木が伝えてくれる物語7
《森のくまさん木曾物語》

好評発売中

公益財団法人 長野県緑の基金

長野市大字南長野字幅下692-2 長野県庁内

Tel 026-232-0111 (内線4819)

Fax 026-234-0330

Email: green@midori-joho.gr.jp

ホームページ: <http://www.midori-joho.gr.jp/>